

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公開番号】特開2011-73114(P2011-73114A)

【公開日】平成23年4月14日 (2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2009-229114(P2009-229114)

【国際特許分類】

**B 2 4 B 9/14 (2006.01)**

**B 2 4 B 49/10 (2006.01)**

【F I】

B 2 4 B 9/14 A

B 2 4 B 49/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月27日 (2012.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡レンズを保持する一对のレンズチャック軸を回転するチャック軸回転手段と、眼鏡レンズの周縁を加工する加工工具が取り付けられた加工工具回転軸を回転する加工工具回転手段と、を備える眼鏡レンズ加工装置を較正するために使用される、眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットは、

前記レンズチャック軸に取り付けられる固定部と、

前記加工工具に接触される接触部材と、

前記固定部に対して前記接触部材を所定方向に移動可能に支持する支持機構と、

前記接触部材の移動を検知するセンサであって、前記接触部材又は固定部に配置されたセンサと、

該センサの検知信号を前記制御ユニットへ送信するための信号送信手段と、

を備えることを特徴とする眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニット。

【請求項 2】

請求項 1 の眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットにおいて、

前記支持機構は、前記レンズチャック軸に対して直交する直交方向で、且つ前記固定部に対して離れる側へ前記接触部材を付勢する付勢部材を持ち、

前記センサは、前記付勢部材の付勢力に抵抗して前記前記接触部が前記固定部側へ移動したことを検知することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニット。

【請求項 3】

請求項 2 の眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットにおいて、

前記付勢部材は、前記接触部材が加工工具に接触して前記固定部側へ移動されるときに、前記加工工具回転軸及びレンズチャック軸を所定の許容量以上に撓ませない付勢力を持つことを特徴とする眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニット。

【請求項 4】

請求項 2 又は 3 の何れかの眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットにおいて、

前記付勢部材は、前記固定部に対して前記接触部材が上向きにされたときに、前記接触部材の自重によって前記固定部側へ移動されず、前記センサが反応しない付勢力を持つこと

を特徴とする眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 眼鏡レンズを保持する一対のレンズチャック軸を回転するチャック軸回転手段と、眼鏡レンズの周縁を加工する加工工具が取り付けられた加工工具回転軸を回転する加工工具回転手段と、を備える眼鏡レンズ加工装置を較正するために使用される、眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットは、

前記レンズチャック軸に取り付けられる固定部と、前記加工工具に接触される接触部材と、前記固定部に対して前記接触部材を所定方向に移動可能に支持する支持機構と、前記接触部材の移動を検知するセンサであって、前記接触部材又は固定部に配置されたセンサと、該センサの検知信号を前記制御ユニットへ送信するための信号送信手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1)の眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットにおいて、前記支持機構は、前記レンズチャック軸に対して直交する直交方向で、且つ前記固定部に対して離れる側へ前記接触部材を付勢する付勢部材を持ち、前記センサは、前記付勢部材の付勢力に抵抗して前記前記接触部が前記固定部側へ移動したことを検知することを特徴とする。

(3) (2)の眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットにおいて、前記付勢部材は、前記接触部材が加工工具に接触して前記固定部側へ移動されるときに、前記加工工具回転軸及びレンズチャック軸を所定の許容量以上に撓ませない付勢力を持つことを特徴とする。

(4) (2)又は(3)の何れかの眼鏡レンズ加工装置の較正用センサユニットにおいて、前記付勢部材は、前記固定部に対して前記接触部材が上向きにされたときに、前記接触部材の自重によって前記固定部側へ移動されず、前記センサが反応しない付勢力を持つことを特徴とする。